

◆新たなスポーツ推進計画で盛り込む視点のイメージ

年齢や性別に関わらず、誰もが生涯を通じてスポーツに親しむ

【スポーツ実施気運の向上】

- ・スポーツ実施機会の少ない人に対する普及促進
※仕事、育児、体力、仲間、お金、イベント参加意欲など様々な要因が点在
- ・子どもから大人まで、年代、性別などの特徴に応じたスポーツの気運醸成
- ・外国籍住民に対するスポーツの気運醸成
- ・コロナ禍を経て、外出機会が減少した人たちに向けたスポーツの気運醸成
- ・少子高齢化社会における高齢者とスポーツの関わり
※AR スポーツなど、最新技術、機器等を使用した施策展開
- ・アーバンスポーツ、ダンスなど新たなスポーツの定着
- ・観る機会を通じたスポーツ気運の向上

【スポーツ実施環境の整備】

- ・子どものスポーツ実施環境の改善、子どもの居場所・遊び場環境整備
- ・スポーツ関連情報に誰もがアクセスしやすい環境構築
- ・指導者からの暴力やハラスメントの根絶

スポーツを通じて人と人が支えあう、共生社会の実現、多様性の実現

- ・障害を持った方でもスポーツに親しめる仕組み作り、事業展開
- ・パラスポーツ普及促進 ※意識調査において、実施経験や観戦体験が少ない
- ・豊島区のスポーツを支える人材の育成、支援
- ・災害時におけるスポーツが果たす役割、被災地、被災者にスポーツが与える影響
- ・施設のバリアフリー促進、ユニバーサルデザイン
- ・学校部活動の地域移行
- ・オリンピック・パラリンピックレガシー、デフリンピック
- ・多様な社会における相互理解

スポーツを通じた地域活性化と持続可能社会の実現

- ・スポーツ協会、レクリエーション協会、スポーツ推進委員との連携
- ・民間企業や区内大学との事業連携
- ・行政、団体、地域が一体となったスポーツ施策の展開



スポーツが持つ可能性を探り、スポーツを通じて区民や来街者が
幸せや満足感を得る施策を展開するための指針とする